



特集 調査研究報告 その2 公民館運営審議会

根 点 気になる言葉遣い

ひる 峰 平和について

実践記録 「関屋大踏節」記録撮影実本記

サークル交流 健康体操さあきクラブ、手話サークルつづり草

素顔拝見 石家和夫氏（小湊町）長谷加裕太氏（見附市）

表紙 滝谷灯籠押し合い祭り

（刈羽村公民館）

第1回評議員会開催



新規主催研修事業を目玉に
新しい時代の公民館のあり方を追求

新会長には今井昭友氏(新潟市中央公民館長)

平成八年四月二十五日(木)、新潟市中央公民館を会場に、今年度第一回県公連評議員会が開催された。全評議員のうち出席者34名(欠席者1名)会議は成立。来賓に県教委生涯学習推進課の課長補佐小熊博氏、同課副参事曾根勝彦氏並びに、下越教育事務所社会教育課長羽田野晃氏、同課副参事吉川一男氏を迎えて定刻一時三十分開会された。正副会長不在のため、瀬戸満

雄理事(新潟市公民館長)が県公連を代表して、今年度は県公連の新規事業の実施など事業が盛りだくさんになっているが、協力して県公連事業の一層の充実を図りたい旨の開会のあいさつがあった。

続いて、来賓を代表して、あいさつに立った県生涯学習推進課長補佐小熊博氏が、今日の学校問題(いじめ問題)にふれ、学校・家庭・地域の連携の重要性にふれ、地域の教育力向上のための公民館の役割を強調。また、米年度に開催される全国生涯学習フェスティバルへの協力要請。今年四月から開始したラ

ネット(情報システム)への情報入力に協力願いたいむねのあいさつがあった。
このあと、十日町市公民館長風間栄光氏を議長に選任して議事に入る。
審議内容

一、平成7年度の会務の報告、並びに歳入歳出決算見込みの報告。平成8年度の事業計画と予算案の承認。

二、正副会長、理事、監事の任期満了に伴う役員改選については、会長に新潟市中央公民館長今井昭友氏を選任した。なお、副会長、監事については、上・中・下越公連において、それぞれ一名を選出する。また、理事については、同様に各地区公連選出の理事候補を会長が委嘱することになった。

三、第47回県公民館大会(要項案は既報)は原案どおり承認。四、新規研修事業の実施。

すでに本紙2月号で紹介したとおり、市長会・町村会の付託により、生涯学習社会構築のための推進力としての公民館に対する期待が大きくなり、そのための職員資質の向上を狙ったものである。(内容は開催要項参照)
五、県教委主催の平成9年度に予定されている「生涯学習フェスティバル」への協力が承認された。

生涯学習推進のための公民館の専門的資質育成研修
～初任者研修～

会場 国立妙高少年自然の家
期日 平成8年9月17日(木)～19日(土)

研修内容の概要

- 1 講義 「公民館とは何か」その法体系と公民館の役割機能、職員論
 - 2 講義と演習 「学習プログラムの企画立案の手法」その理論と立案演習
 - 3 演習 「会議の進め方」「レクリエーション」その考え方と実技演習
 - 4 その他 交流会、キャンドルサービス等
- 経費 4,500円(食費3,200円、材料費等300円資料代1,000円)

生涯学習推進のためのプログラム開発研修
～公民館施設ボランティア育成事業をととして～

会場 県立青少年研修センター
期日 平成8年11月21日(木)～22日(金)

研修内容の概要

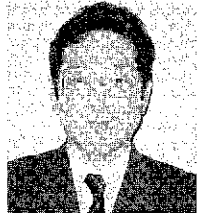
- 1 講義 「公民館ボランティアの考え方と育成の技法」その事例をととして
 - 2 講義 「学習プログラム開発について」その実際
- 経費 2,600円(食費1,500円 雑費100円 資料代1,000円)

生涯学習推進のための公民館運営審議会委員研修

会場 上・中・下越別研修
期日 地区別

研修内容の概要

上・中・下越地区公連の役員研修会等の機会を利用する。
経費 500円(資料代)



就任のご挨拶

新潟県教育庁生涯学習推進課長

課長 田口重憲

本年4月1日付けで教育庁生涯学習推進課長を拝命いたしました。

この本格稼働など着実に整備がなされてきました。

本県の生涯学習の推進体制は、これまでの生涯学習審議会や生涯学習推進センターの設置、生涯学習推進プランの策定及び本年4月の生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

の開催、学習相談の充実、ポラ

ンティア活動の進行などの施策の展開が期待されます。

また、来年、全国生涯学習フェスティバルが新潟県で開催されます。このフェスティバルは日頃の学習成果の発表の場でもあります。公民館の協力が不可欠のものでございます。

今後は、微力でございますが新潟県の生涯学習・社会教育の発展のために努力してまいりたいと思っておりますので公民館連合会の皆様方のご支援をお願いいたします。

視点

若い人のラ抜き言葉が問題にされて久しい。最近、語尾上げで早口、大声で我れ先きにとまくしたてる者が増えた。さらに、ナンカ、アレ、ヤッパで始まり、ウソー、ホントーで相槌を打つ。「超」

気になる言葉遣い

長沼千尋

スエットスイツ、イパソツなどを知らなかったり、昔の言い方をしたりすると笑われる。良くない話し方を本人が気づかないのか、テレビなどで見られる変な言葉遣いをカッコある礼儀作法の講座の最中、ガムを噛みながら仲間と私語を続けたりと、テレビの作法教室で、公民館で言葉の教室や礼儀作法

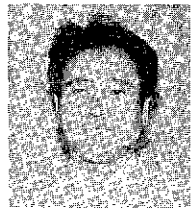
講座を開設しても参加希望は多くないと言われている。見るのは良いが、直接問題を指摘されるのは敬遠されるのであろう。

しかし、気づかないでいるのなら、教えられないまま育ったのであれば、社会の風潮に流されているとすれば、気になることや良くないことはきちんと教えた直さたりするのはオトナの役目である。たとえ煙たいオ

ジーン、オパンと言われなくても(長岡市高齢者学習活動協力員)

平和について

小川三男



今世紀に入り私たちが人類は、未曾有の殺戮を繰り返してきたように思う。

私たちの公民館活動は、この大きな犠牲の上に成り立っていると、言っても過言ではないだろう。

ば

子供達はそれらの事をもっともつと教えてほしいと、無言のままに訴えているように思える。

ろ

子供が弱くなったと嘆く大人も少なからずいるようだが、優しすぎる子供達でうめ尽くせないかぎり真の平和はやってこないと思う

ひ

成されないのだからと思う。(笹神村公民館運営審議会委員)

投稿歓迎

「ひろば」は公民館運営審議会委員の交流のスペースです。相互の意見を親睦を深める原稿の投稿を歓迎します。字数は七五〇字程度で顔写真を添えてください。住所は八面参照。

調査報告書抜粋 運営審議会

が、平成 6 年度から 3 力年計画で行っている紙編集部が一部抜粋して紹介する。

はじめに

公民館運営審議会(以下公運審という)は公民館の活動にとつて極めて重要な役割を担っていると云われながら、その活動が形骸化していると指摘されているのが全国的な傾向である。本県の場合、近年僅かではあるが上向きであるとの声を聞くようになったのは喜ばしいことである。それはそれとして、ここに記した全公運の調査報告書によって、実情を検討してみたい。(表 1 の中で「全」「新」とあるのは「全」は全公運調査の結果であり、「新」は本県生涯学

表 1 公民館運営審議会委員数(市町村全体) %

委員数		10万以上	10万未満	1万以上	1万未満
1~10	全国	13.1	9.8	22.6	36.8
	新潟	8.3	27.2	22.8	61.4
11~20	全国	38.1	55.7	55.9	47.4
	新潟	91.6	54.5	77.2	36.8
21~30	全国	13.1	6.6	8.6	6.6
	新潟	0	9.0	0	1.8
31人以上	全国	31.0	24.6	9.7	3.9
	新潟	0	9.0	0	0
不明・無答	全国	4.8	3.3	3.2	5.3
	新潟	0	0	0	0

表 2 3号委員の構成

	市	町	村
学 識 者	1269 (81.1)	624 (73.5)	
市町村長	0 (0)	5 (0.6)	
市町村職員	37 (2.4)	17 (2.0)	
議会議員	156 (10.0)	156 (18.4)	
不明・無答	102 (6.5)	47 (5.5)	

習推進課で調べた数字である) 1、公運審の委員数

表 1 は、市町村の人口規模別に公運審の委員の総数を 10 人ごとに 4 層に刻んで比較してみたものである。

それによると、「11 人〜20」の比率が市町村の人口規模の大小を問わず高くなっている。

本県の場合は人口 1 万人未満の町村で、「1〜10」が突出しているのが特徴的である。

2、公運審の委員構成

中央公民館の委員構成は 1 号委員(12・4%) 2 号委員(51・2%) 3 号委員(36・4%) となっている。この比率は人口規

模別にみてもほぼ同じ比率が得られている。ちなみに、委員の構成を男女別にみると図 1 の結果が得られている。それによると、女性委員では 1 号委員の比率が少ないことは特徴的である。

3、女性の委員数

女性の委員数は中央公民館の委員総数の 22・1% を占め、1 館平均の委員数は 4 人である。

この場合も、人口規模が大きい市から小さい町村へと、1 館当たりの女性委員数はおおむね漸減傾向を示す。そして市の方が町村よりも、委嘱する女性委員の数が多し。なお、回答市町村のうちで、

女性の委員を委嘱していない公民館がまだ 9 館(0%) 存在している。

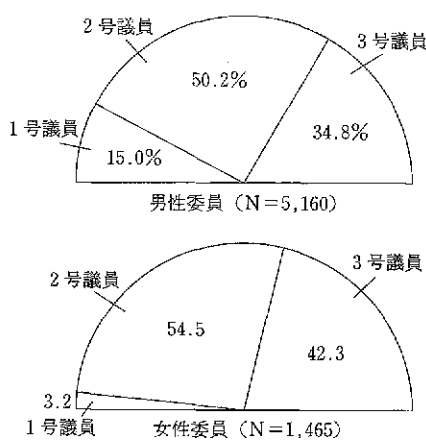
4、3号委員の構成

3 号委員は学識経験者となっているが、市町村長もしくはその補助機関としての市町村職員、または議会議員も委嘱することができることになっている。

回答市町村全体の 3 号委員は委員総数の 36・4% であるが、その内訳の構成比は、学識者が圧倒的に高い比率を占め、次いで議会議員が占めている。今日では市町村長を委嘱するのは極めて稀な状況にある。(表 2 参照)

5、公運審の活動

図 1 運営審議会員の構成(中央公民館)



業部・総務部・施設部などがある。また、専門委員会を常置せず、課題の緊急性によって「随時設置している」と回答した公民館もある。6、館長任命時の意見聴取 「館長の任命に関しては、市町村の教育委員会は、あらかじめ公民館

(1) 年間会議数 図 2 にみるとおり、人口規模の大きい自治体から小さい自治体へとほぼ漸減傾向を示す。(2) 専門委員会等の設置 中央公民館の公運審に専門委員会や部会を設置しているかを問うたところ、全体として設置していない比率が高かった。(73・9%) として、人口規模の大きな自治体ほど設置していない比率が高い。人口規模の小さい町村が専門委員会等の設置比率が高くなっている点が注目すべき現象といえよう。(図 4 参照) 中央公民館に設置されている専門委員会や部会等の組織の種類を、比率の高い順に列挙すると図 3 のとおりである。図のうち「その他」には図書部・事業部・総務部・施設部などがある。

図2 運営審議会の平均会議数

人口10万人以上の市	全	5.5回
	新	4.0回
人口10万人未満の市	全	3.6回
	新	3.5回
人口1万人以上の町村	全	3.1回
	新	3.6回
人口1万人未満の町村	全	3.1回
	新	3.3回

公民館の運営に関する その2 公民館

この調査研究報告書は、(社)全国公民館連合会
ものうち平成6年度分の報告書である。本

運営審議会の意見を聞かなければならない。」と規定している。このことがどのように受けとめられ展開されているかをみると、「意見を聞いている」のは市町村職員を館長に任命する場合は28・7%、職員以外から任命する場合は32・8%と、両者と

も三分の一未満の公民館に止まっている。これは、人事に関することだけに意見を聞きづらい面があるためか、「無答、不明」の比率が最も高くなっている。また、意見を聞いている公民館に対して、どのような聴き方をしているかを問うた結果が表3である。それによると、最も

図4 専門委員会・部会等の設置

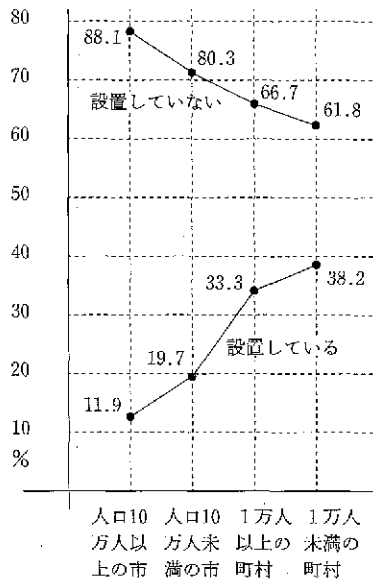
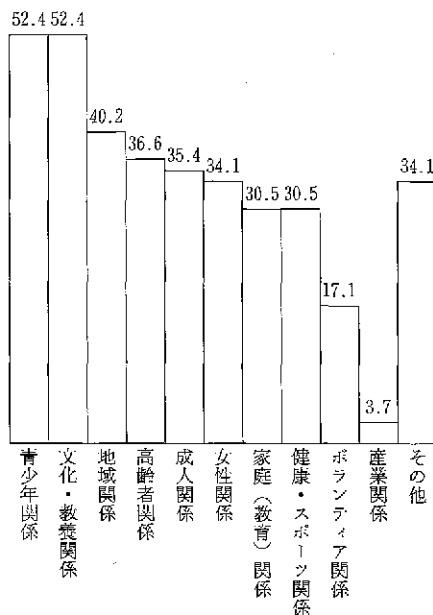


図3 設置されている専門委員会の内容



また、意見を聞いている公民館に對して、どのような聴き方をしているかを問うた結果が表3である。それによると、最も

表3 公民館運営審議会への意見の聴き方

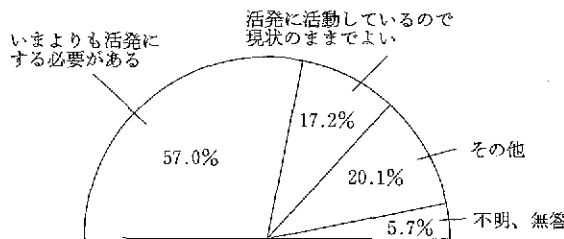
	具体的氏名を挙げて聴く	相応しい人格識見を聴く	適任者を推薦してもらおう	その他
職員を館長に任命する場合	54 (60.0)	25 (27.8)	6 (6.7)	5 (5.6)
職員以外の者を任命する時	57 (55.3)	22 (21.4)	22 (21.4)	4 (3.9)

「適任者を推薦してもらおう」が「相応しい人格識見を聴く」と同率になっている。また、職員以外の場合には、「適任者を推薦してもらおう」が「相応しい人格識見を聴く」と同率になっている。また、職員以外とは専任兼任を含めた市町村職員で、職員以外とは非常勤をさしている。」

比率の高いのが「具体的氏名を挙げて聴く」であり、それについて「相応しい人格識見を聴く」である。このことについて、記述式的回答によると、

- 「研修機会の充実」(43館)
- 「諮問・答申に関する調査審議活動の活発化」(29館)
- 「専門委員会の設置」(25館)
- 「会議回数増加」(25館)
- 「女性や若年者等を含める構成の見直し」(22館)
- 「委員定数の増加」(7館)
- 「社会教育委員との兼務の解消」(7館)
- 「情報提供活動の充実」(7館)
- 「公民館ごとの設置」(5館)

図5 運営審議会活動の活発化の必要性



実践記録シリーズ(8)

「関屋六階節」記録撮影顛末記

新潟市関屋地区公民館主査 武 樋 洸

地獄に仏、棚から牡丹餅の話

ペテラン主事ともなると、さりげない言動の中に、信じられないような仕事をするものである。ここに紹介するのは、本紙の前月号八面に掲載した「関屋見聞録、もっと知りたい関屋」の巻末に載っていたエッセイ風な一文の転載である。(編集字)

「六階節をなんとかしたいですねえ」とペレー帽氏が言う。

「六階節をですか?」

「そう、六階節をです!」

「三階節ではだめなんですか?」

「三階節ではだめなんです。六階節なんです!」とペレー帽氏はこだわっている。

「じゃあ六階節をなんとかしますか!」

「なんとかしましょう!」と中年を超えた二人の男は、なんとかしようとして立ち上がった。

「ビデオで撮るといのはどうでしょうか?」と私。

「いいじゃあないですか!」

「公民館にカメラがありますから、それで私が撮りましょう!」

「撮れませんか?」

「撮れるでしょう、カメラですから!」素人の二人は簡単に考えていた。

うと思いませんか?」「そうしてください」と話はトントン進んだ。

そして、さらに四・五日後、「雨だったことがおこりましてねえ」とペレー帽氏。

「どうしました?」

「撮影は、お宮でやらなくてもいいが、公民館では気が乗らないというのですよ。」

「困りましたねえ!」

「それも、祭りの晩の盆踊りの日でないのだめだと……」

「夜ですね?」

「夜です!」

「夜間撮影ですか?」

「そう言うことになりました。」

「困りましたねえ、照明も要りますし……。我々の手には負えませんねえ」と私。

「おやさまを通して、もう一度頼んでみましょうか」

「そうするしかありませんね!」

「そうしてみましよう!」と、ペレー帽氏は剛志を背中に漲らせて出ていった。しかし、結局「いろいろ手を尽くしたがためでした」と力なく帰ってきた。

「難しい人たちですねえ」

「名人ですからねえ」

「仕方ありませんねえ、ところで、お宮はいくらか撮影の予算があるんでしょうか?」

「いくらかはあるでしょう。」

「じゃあ、3万円ほどでプロに頼んでみませんか?、経費は公民館と半々で持つとして。」

「それじゃあ、お宮の方に聞いてみましょう」とペレー帽氏。

「私は撮影してくれる業者を当たります」といって電話帳を繰ると、金衛町にビデオ撮影「はと社」とあるので、さっそく折衝した。すると、

「勘弁してください!夜でしょう!照明が何台も要るし、カメラも普通ののじゃ駄目ですよ。助手も必要だし……最低でも十万円はみてもらわないとねえ。でもまあ、公民館の頼みでもありませんから、素人に毛の生えた程度のものでよければ三万円です。やってみましようか!」ということになった。

「お願いしますよ」と、こちらは、ただ撮ってもらいたい一心であった。

「じゃあ、とにかく現場を一度見せてもらいましようか。」

「私も一緒にいきます」といって一緒に神社に行ってみた。

「照明のための電気工事が必要ですねえ。」

「高いでしょうか?」

「高いでしょうねえ!」

「困りましたね。」

「カメラやライトもどこかにいいものがあればいいのですが」

「お宅の店の品物ではだめなんですか?」

「うちの、会社の品物ですから、使えば金がかかりますよ、とても予算内ではねえ!」

「それじゃあ、市のライブラリーへ行ってみましようか」と、

「はと社」の社長と二人で行ってみた。そして、少しはいいかなと思われるカメラと、照明用ライトを予約して颯爽と玄関を出た。ところが、電気工事店の見積もりは電線を引くだけで三万五千円だという。何たることであろう!この、思いもよらぬ伏兵にこの計画はオジャンになるところであった。

打ちひしがれていたある日、市の文化振興課の女性課長補佐から電話がかかってきた。

「武樋さん!関屋六階節の撮影をしたいということだが、お金はあるの?」と聞いてきた。そのわけはこうであった。

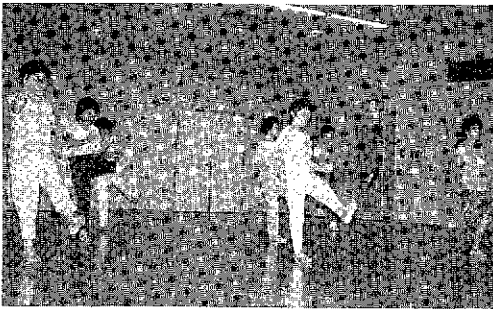
文化振興課が管理している「市民プラザ」(VEXTEL)では、各地の伝統芸能をビデオ収録し、何時でも見られるようにしている由。もし、市民プラザに一本よこしてくれるなら製作費を出しますよ、但し15万円以内ですが……という。

地獄に仏、棚から牡丹餅。二人の中年過ぎは、ビールで思いつき乾杯をしたかった。だが一方は下戸であった。そして「関屋六階節」は残った。

サークル交流

楽しみながら健康管理 健康体操さわやかクラブ

昭和五十八年、社会体育指導員森田登さんを講師として健康体操トリム教室開設以来、はや十二年がたちました。当時の活動としては、ラジオ体操、ストレッチなどを週一回行い、実技講習、野外活動、それらを通じて仲間づくりの輪が広がりました。



その後六十二年に「健康体操さわやかクラブ」と改称し、現在でもラジオ体操を基礎として、演歌やポップスなどに合わせ

せたレクダンスで爽快な汗を流しています。

近年、とみに言われているように、高齢化社会が到来しつつあります。そうなるに、自分の体を自分で責任をもって管理する事が必要となって来ます。ですが、焦って無理をするのではなく、あくまで楽しみながら適度な運動をする事によって、徐々に体力を高めていきたいと思っております。

皆さんも、楽しく体力づくりをしてみませんか。

(小須戸町 木村 定 記)

四年目の春を迎えて

手話サークルつづみ草

私達のサークルは四年前、新潟市中央区公民館の手話講座を終了した受講生で発足しました。講習では手話がどんなものか見学だけで終わってしまい「何の為に受講したのか?」これをキッカケに私達にも何か出来ることはないかしら」という声で始まりました。

ほとんどが主婦の集まりなので家事や育児に差し支えないように日中で週一回の活動日と決まりサークルの名前を決める



時、誰かが「つづみ草」はどううのよ」と言いました。たんぼ

ばは派手ではないけれど、どこにでも種を飛ばしてしつかりと地に根を張り花を咲かせる……

私達の集まりもそんなふうになれたらという気持ちを含めて名前を付けました。聴覚障害の方々も何人か参加してくれて毎週楽しく交流やボランティアについてなど手話以外の勉強もしています。

四年目の春を迎えて気持ちを新たに会員一同気を引き締めてスタートしようと思っ

ています。

手話サークル「つづみ草」

館田 由利子 記

小木町公民館・公民館主事

石塚和夫 氏

今年四月、住民課(水道係)から教育委員会へ出向してきた石塚君、B&G海洋センターのスポーツ関係をおもに担当する。最初は戸惑いもあるようでしたが、そこは、持ち前の明るさと若さで取り組んでいるハリキリボーイである。



五月に は、海洋センターの指導者になるため、広島

県・蒲刈町海洋センターと東京都・B&G海洋センターの両センターへ育成士養成訓練に参加する予定である。

研修が終了するのは、八月の中旬であるが、日焼けた元気な顔で心身ともに一まわり大きくなって帰ってきて、公民館の活動をより身近なものにして、活躍してくれるものと期待している。

フレ、フレ、石塚。

小木町公民館 高津啓介 記

素顔 拝見

見附市葛巻公民館主事補

長谷川裕恭 氏

一度会ったらその日から、恋に花咲くことはない(?)かもしれないが、彼「ひろやす」君のことは忘れられないだろう。とにかく、彼の胸板、腕はとてつもなく厚く太い。しかし、体は以外にも俊敏で、サッカー部に属している。昨年は活躍するはずであったが、不覚をとり、今年こそやってくれるであろう。やってくれるであろうといえ、仕事である。今春、社会教育課からやってきて、来客接待、講座の運営等、ずっと前から公民館に生息(?)していたかの如く



日夜、仕事に取り組んでいる。

そんな彼は無類の音楽好きで、中でも大のロックファン。友と会うときは、いつも音楽談義になる。かと思えば、原チャリで新潟を東奔西走したり、最近では愛車ビストロで県下を走りまわっているらしい。彼を見たら、アンパンマンのようなやわらかい頬をつねってみて下さい。

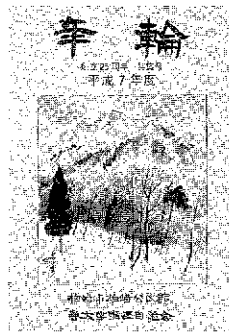
見附市中央公民館 近藤孝幸 記

資料紹介

年輪

柏崎市柏崎公民館が開設している高齢者講座「寿大学講座」が開設25周年を迎えたことを記念して、寿大学講座自治会の手によって「年輪」という記念冊子が編纂された。

A5判140ページの冊子で、こ

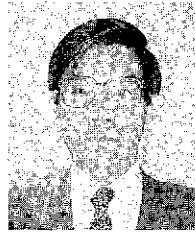


柏崎市柏崎公民館 寿大学講座自治会 寿大学講座の特色とでもいえる「自治会」による大学運営の様子がよく分かる。また、内

よろしく願います

新潟県教育庁生涯学習推進課

副参事 中曽根 勝彦



この四月から公民館担当になりました。よろしく願っています。

あらためて申し上げるまでもなく、公民館は地域の生活文化や教養の向上、健康の増進等のために、地域住民の中心的な学習施設であります。とりわけ、生涯学習がますます進展し拡充しつつある今日、公民館の役割もますます大きく、かつ重要になっております。

社会の変化に伴い、人々の学習意欲はますます高まり、学習要求は高度化し専門化し、その

上多様化しております。公民館はそのような学習要求に的確に応え、地域づくりに向けたサービスあるいは相談活動など、地域住民の心を動かす魅力ある事業の展開が期待されております。 貴県公連の運営の基本方針は「生涯学習社会の構築を目指すた公民館の在り方」の追及と承っております。その課題解決に向けて、力不足ではございませんが、ご期待に応えるべく貴公連との連携を密にして努めますのでよろしく願っています。

資料紹介

わたしたちの学習

容としては、年ごとに学生数が増加し、発展充実してきた25年の歩みの回顧とともに、現在の活動の記録も克明に記されている。高齢者学級を開設している多くの公民館関係者に、その運営方法の参考となる。 また「語り継ぐ平和を記念して」の章では、二百数十名の



十日町市公民館で開設している「十日町青年学級」の学習収録「わたしたちの学習」が贈られてきた。その23集である。年に一回の発行であるとすれば23年目の学習報告書ということか。

B5判65ページの冊子で、今の若者感覚はレトロ調なのか、表紙の浮世絵版美人が強い印象を与えた。青年らしい屈託のない大胆さである。 表紙を開くと「十日町青年学級歌」が目に入る。この学級歌

学生たちによる、太平洋戦争の戦中戦後の体験記録が綴られている。おそらく、どの学生もこの当時青春を生きってきた人たちであり、命をかけて祖国を愛し、郷土を愛し、近親の中の自分を愛して生きてきた姿が生々しく描き出されていて、共感を覚える文面ばかりである。

十日町青年学級収録 十日町市公民館

表紙解説

滝谷灯笼押し合い祭り

一七年ぶりに甞る 伝統の祭り 古老が泣いて喜んだ。

灯笼には手作りの牡丹の花や菊が飾られ、一台に白装束のおとなが六人つく。華麗な灯笼を家々の前で勇壮にもみあう光景は着実に春の訪れをも迎え入れる。

資料提供 刈羽村公民館

なにして、この青年学級は、今では全国でも数少なくなつた生粋の青年学級(国の「青年学級振興法」に基づく青年学級、つまり、青年学級主事が置かれ所定の学級生数、開設日数時間数の基準が定められている青年学級)という伝統を保持しているのが特色である。この伝統を受け継いで、学習活動を継続している姿に敬意を評するものである。

あとがき

◆大型連休が終了しました。各地で交通事故のニュースがしきりです。

この連休は、公民館の関係者にとつては、メリットがあつたのか、無かつたのか?。そんな情報を率直に交換しあいたいものです。情報をお寄せください。(上村)

発行所 新潟県公民館連合会 〒951 [新潟市川端町2-9・県林業会館内] [TEL-FAX (025)224-6073] 発行人 会長 今井昭友 編集人 事務局長 上村 捨二郎 [定価1部150円 年共・年極1,800円]